

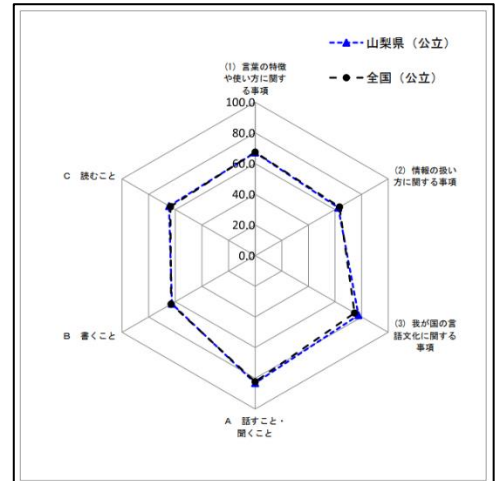
全国学力・学習状況調査 中学校 国語

集計結果

	生徒数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
山梨県 (公立)	5,732	10.5 / 15	70	11.0	3.2
全国 (公立)	892,738	10.5 / 15	69.8	11.0	3.4

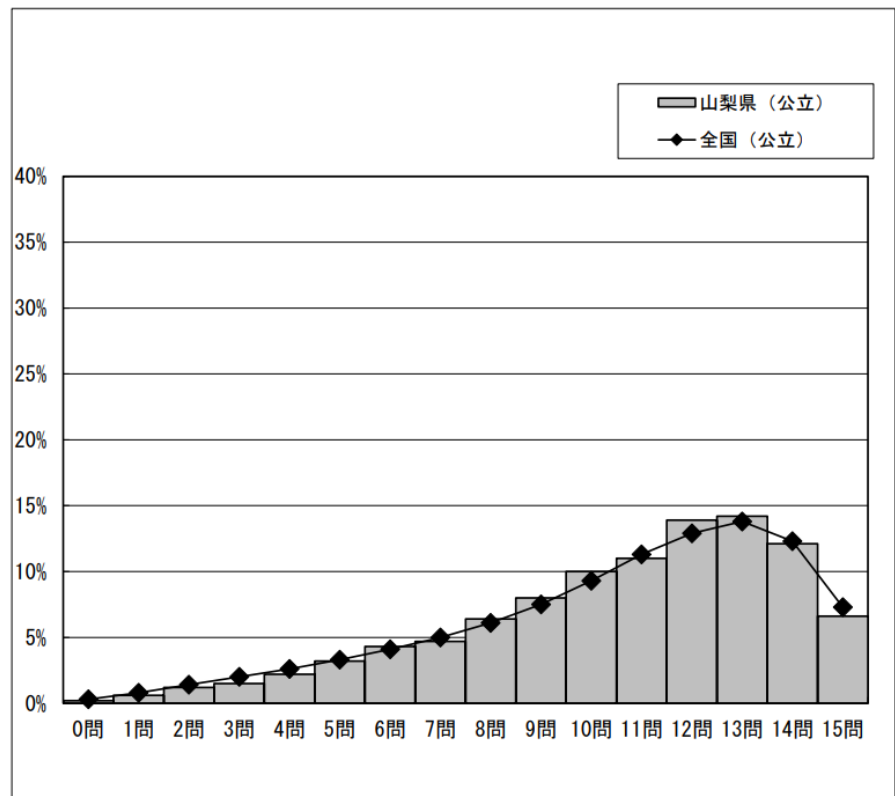
分類	区分	対象問題数(問)	平均正答率(%)		
			山梨県(公立)	全国(公立)	
全体			15	70	69.8
学習指導要領の内容	知識及び技能	(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項	2	67.2	67.5
		(2) 情報の扱い方に関する事項	2	62.5	63.4
		(3) 我が国の言語文化に関する事項	3	77.6	74.7
	思考力、判断力、表現力等	A 話すこと・聞くこと	3	83.1	82.2
		B 書くこと	2	62.6	63.2
		C 読むこと	4	64.7	63.7
評価の観点	知識・技能	7	70.3	69.4	
	思考・判断・表現	9	70.4	69.7	
	主体的に学習に取り組む態度	0			
問題形式	選択式	7	72.7	73.1	
	短答式	4	66.3	65.6	
	記述式	4	70.2	68.0	

＜学習指導要領の内容の平均正答率の状況＞



正答数集計値・分布グラフ

正答数	正答数集計値		
	生徒数	割合(%)	
	山梨県(公立)	山梨県(公立)	全国(公立)
15問	381	6.6	7.3
14問	695	12.1	12.3
13問	812	14.2	13.8
12問	796	13.9	12.9
11問	628	11.0	11.3
10問	576	10.0	9.3
9問	456	8.0	7.5
8問	366	6.4	6.1
7問	271	4.7	5.0
6問	244	4.3	4.1
5問	181	3.2	3.3
4問	128	2.2	2.6
3問	86	1.5	2.0
2問	66	1.2	1.4
1問	35	0.6	0.8
0問	11	0.2	0.3



問題別集計結果

問題番号	問題の概要	学習指導要領の内容						評価の観点			問題形式			正答率(%)		無解答率(%)		
		知識及び技能			思考力、判断力、表現力等			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	選択式	短答式	記述式	山梨県(公立)	全国(公立)	山梨県(公立)	全国(公立)	
		(1) 言葉の特徴や使い方に 関する事項	(2) 情報の扱い方に 関する事項	(3) 我が国の言語文化に 関する事項	A 話すこと・聞くこと	B 書くこと	C 読むこと											
1一	インタビューの前に準備したメモについて説明したものとして適切なものを選択する				1 ア				○		○				87.2	87.5	0.0	0.1
1二	インターネットの記事を読んで気付いた点として適切なものを選択する		1 ア						○		○				65.4	65.1	0.2	0.2
1三	相手の話を受けて発した質問について、述べ方の工夫とその意図を説明したものとして適切なものを選択する				1 エ				○		○				76.4	76.6	0.1	0.2
1四	インタビューのまとめとしてどのようなことを述べるのか、自分の考えを書く				1 エ				○		○				85.7	82.5	8.3	10.8
2一	「落胆する」の意味として適切なものを選択する	1 ウ							○		○				90.8	91.1	0.1	0.2
2二	二つの文章に共通する表現の効果を説明したものとして適切なものを選択する								○		○				63.2	63.0	0.3	0.4
2三	それぞれの文章で述べられている「読書の楽しみ」として適切なものを選択する								○		○				74.3	74.2	0.2	0.3
2四	自分がこれからどのように本を読んでいきたいかについて、読んだ文章を参考にして、知識や経験に触れながら書く			2 エ					○	○		○			71.0	67.5	2.8	3.9
3一	レポートの下書きの一部について、文の一部を直す意図として適切なものを選択する								○		○				51.5	54.3	0.5	0.6
3二	漢字を書く(おし量って)	2 ウ							○		○				43.5	43.9	10.1	10.7
3三	「『判じ絵』とは何か」と見出しを付けた部分について、内容のまとまりで文章が二つに分かれる箇所を選択し、後半のまとまりに付ける見出しを書く		2 ア						○		○				59.7	61.8	2.1	2.1
3四	「『判じ絵』の解説の面白さ」と見出しを付けた部分に具体例として示す「判じ絵」を選択し、その解説の仕方を書く								○		○				73.8	72.1	9.7	10.2
4一	歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直す(いひける)			1 ア					○		○				86.5	82.5	2.7	3.6
4二	原文の中の語句に対応する言葉を現代語で書かれた文章から抜き出す(いと)			2 イ					○		○				75.3	74.1	4.1	4.8
4三	現代語で書かれた「竹取物語」のどこがどのように工夫されているかについて、古典と比較して書く								○		○				50.5	50.0	18.4	20.7

こんな姿を
目指したい!!



文章の表現の効果について、 根拠を明確にして考えることができる生徒

正答例 4 三

「手なれた仕事だ。」と付け加えることで、竹を割る翁の様子を読者が想像できるようにしている。

特徴的な誤答

「笠、竿、箒、籠、筆、箱、筒、箸」が具体的に書かれている。（解答類型2）

誤答から見える
生徒のつまずき！

ここがつまずき！

表現が、どのように工夫されているかという問いに対して、表現の特徴だけ挙げている。
→表現について考える際には、表現の特徴だけではなく、表現の効果(正答例下線部)まで捉えることが必要となる。



1 学年の学習で...

第1学年 C読むこと(1)工
表現の効果、根拠を明確に
教材名：「少年の日の思い出」（光村図書）

日々の学習における 改善・充実

＜言語活動例＞イチオシの表現とその効果を紹介しよう。

作品中の工夫された表現とその効果について、根拠となる部分、理由を明確にして考える。

そのために

＜学習活動例＞ 表現の効果について考えよう。

工夫された表現を取り出すことにとどまらず、その表現が作品の内容を伝えたり印象付けたりする上で、どのように働いているか、作品における表現の効果についての考えを深める。

様々な表現について、作品の中でどのように働いているのかを考えることができるようにしましょう。

前は、場面ごとの内容とともに、この作品の工夫された表現についてまとめました。今日は、一人一人が注目した表現について、作品の内容と関連付けながら話し合い、その表現が作品に対し、どのような効果を生み出しているのか考えましょう。



場面	内容	表現
前半	・蝶の収集を見せる私	昼間の明るさは消えようとしていた。
	・不愉快そうにする客	彼の姿は、外の闇からほとんど見分けがつかなかった。
後半 始め	・ちょう集めに夢中になる僕	今でも、美しい…
終末	・ちょうを押しつぶす僕	ちょうを一つ一つ取り出し、指で粉々に押しつぶしてしまった。

「昼間の明るさは…」の表現に注目しました。「消える」ではなく「消えようとする」と表現することで、より暗いイメージを与えていると思います。



私は「彼の姿は…」という描写に注目しました。闇の意味を調べると「光のないこと」とありました。「闇」という言葉で表現することで、客の救われないうちも表しているのではないかと考えました。



僕が注目した「ちょうを一つ一つ…」の文では、「粉々に」という表現によって、エーミールに対する僕の強い思いを印象付けていると思いました。



作品の内容と関連付けて表現について考えることで、工夫された表現を取り上げるだけでなく、表現とその効果も考えることができましたね。友達に紹介する際は、表現の特徴と効果を整理して、理由も加えて伝えましょう。



作品の表現について、文章の内容と結び付けながら、作品に対しどのような効果をもたらしているのか自分なりの考えをもつことを継続的に指導していきましょう。

それぞれの表現が、文章においてどのように働いているのかを考える学習課題を設定しよう！

ここが
POINT



4

石井さんは、国語の時間に、「竹取物語」を読みました。そのあと、学校図書館で、現代語で書かれた「竹取物語」を見付け、読み比べてみました。次は「授業で読んだ「竹取物語」の一部」の〔原文〕とその〔現代語訳〕、「学校図書館で見付けた「竹取物語」の一部」です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。

〔授業で読んだ「竹取物語」の一部〕

〔原文〕

今は昔、竹取の翁といふものありけり。野山にまじりて竹を取りつづ、よろづのことに使ひけり。名をは、さぬきの造となしひける。その竹の中に、もと光る竹なむ一筋ありける。あやしがりて、寄りて見るに、筒の中光りたり。それを見れば、三寸ばかりなる人、いとつくしうてゐたり。

〔現代語訳〕

今ではもう昔のことだが、竹取の翁という者がいた。野や山に分け入って竹を取っては、いろいろなことに使っていた。名前を、さぬきのみやつこといった。その竹の中に、根もとの光る竹が一本あった。不思議に思つて、近寄つて見ると、筒の中が光っている。それを見ると、三寸ほどの人が、とてもかわいらしい様子で座っている。

〔学校図書館で見付けた「竹取物語」の一部〕

むかし、竹取りじいさんと呼ばれる人がいた。名はミヤツコ。時には、讃岐の造麻呂と、もつともらしく名乗つたりする。野や山に出かけて、竹を取つてきて、さまざまな品を作る。

笠、竿、箒、籠、筆、箱、筒、箸

筒は料理用。そのほか、すだれ、ふるい、かんざし、どれも竹カンムリの字だ。

自分でも作り、職人たちに売ることもある。竹については、くわしいのだ。

ある日、竹の林のなかで、一本の光るのをみつけた。ふしぎなことだと、そばへ寄つてよく見ると、竹の筒のなかに明るいものがあるらしい。

その部分を、ていねいに割つてみる。手なれた仕事だ。なかには、手のひらに乗るような小さな女の子が、すわっていたまことに、かわいらしい。

〔星新一「竹取物語」による〕

三 「学校図書館で見付けた「竹取物語」の一部」は、古典の作品である「竹取物語」に、作家の星新一が工夫を加えて現代語で書いたものです。どこがどのように工夫されていると考えられますか。「授業で読んだ「竹取物語」の一部」や「学校図書館で見付けた「竹取物語」の一部」の表現を取り上げて、あなたの考えを書きなさい。

なお、読み返して文章を直したいときは、二本線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。

※ 左の様子は、下書きに使つてもかまいません。解答は必ず解答用紙に書きなさい。

Blank writing area for student response.

学習指導要領における領域・指導事項

〔第1学年〕 思考力、判断力、表現力等 C 読むこと (1)

工 文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えること。

全国学力・学習状況調査 授業改善のポイント（調査問題4三）



「読むこと」を通して古典の楽しみ方を理解する

「現代語訳」を活用して、古典作品を楽しむ授業アイデア

Point

（「令和5年度 全国学力・学習状況調査 報告書」より）

〔第1学年〕知識及び技能（3）我が国の言語文化に関する事項 ア「伝統的な言語文化」
音読に必要な文語のきまりや訓読の仕方を知り、古文や漢文を音読し、古典特有のリズムを通して、古典の世界に親しむこと。

〔第1学年〕思考力、判断力、表現力等 c読むこと（1）エ「精査・解釈」
文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えること。

第4章 指導計画の作成と内容の取扱い 3 教材についての配慮事項

(5) 古典に関する教材については、**古典の原文に加え、古典の現代語訳、古典について解説した文章など**を取り上げること。

古典の指導に当たっては、古典の原文に加え、古典の現代語訳や古典について解説した文章などを教材として取り上げることを示している。
中学校における古典の指導は、生徒が古典に親しみをもてるようにすることをねらいとしている。古典の原文は、古文や漢文特有のリズムを味わったり文語のきまりを知ったりする上で有効であるが、古典の指導は原文でなければ行えないというものではない。古典の文章の内容を概括したり古典の文章に関する様々な事柄に触れたりするためには、分かりやすい現代語訳や古典について解説した文章などを教材として適切に取り上げることが必要である。

（中学校学習指導要領（平成29年告示）解説 国語編）

指導する内容や生徒の実態に応じた教材の工夫

古文や漢文特有のリズムを味わったり文語のきまりを知ったりする際

→古典の原文を教材

古典の文章の内容を概括したり古典の文章に関する様々な事柄に触れたりする際

→分かりやすい現代語訳や古典について解説した文章などを教材に加える などの工夫が必要

授業アイデア①

<第1学年>

「読むこと」を通して古典の楽しみ方を理解する ～「現代語訳」を活用して、古典作品を楽しむ～

単元の主な流れ

<第1時>

- 1 学習の見通しをもつ。
- 2 「竹取物語」について**知っていることを出し合い、整理**する。
- 3 「竹取物語」の**作品の特徴**（成立時代、作品の種類、あらすじ等）を**全体で確認**する。
- 4 「竹取物語」の冒頭の部分の原文と現代語訳を音読し、**古文の特徴を捉える**。

<第2時>

- 5 **各自で、星新一訳「竹取物語」（以下、星新一訳）の冒頭に当たる部分を読み、面白さや工夫されている点についてグループで交流**する。
- 6 5で交流した**面白さや工夫されている点を具体的に取り上げて黄色の付箋に書き、古典の原文の対応部分を探し、青色の付箋に書く**。
- 7 グループで、6で書いた付箋を整理しながら、**気付いたことについて交流**する。
- 8 7で整理した付箋を見せ合いながら、**全体で交流**する。

<第3時>

- 9 **読みたい場面を選び、星新一訳の「竹取物語」と原文とを読み比べる**。

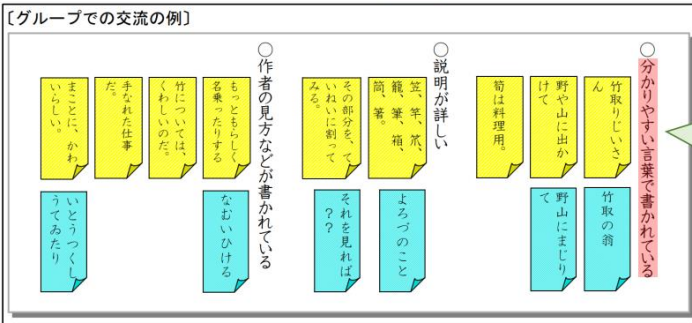
<第4時>

- 10 **読み比べてみて面白く感じたことや工夫されていると感じたことについて、感想を交流**する。

- ◎ 表現が文章の内容を伝えたり印象付けたりする上でどのように働いているかを考えることに課題がある。
- ◎ 自分が感じたよさや工夫されていると**考えたことの根拠を明確にする**ことに課題がある。

- 各自で、星新一訳「竹取物語」の冒頭に当たる部分を読み、面白さや工夫されている点について**グループ**で交流する。
- ⑤で交流した面白さや工夫されている点を具体的に取り上げて黄色の付箋に書き、古典の原文の対応する部分を探し、青色の付箋に書く。
- グループで、⑥で書いた付箋を整理しながら、**気付いたこと**について交流する。
- ⑦で整理した付箋を見せ合いながら、**全体**で交流する。

星新一訳の表現の工夫について交流した内容（⑦の交流の際の根拠となる内容）を付箋で視覚化することで、⑦の交流が、ただの気付いたことの伝え合いではなく、**根拠となる表現（言葉）を意識した交流**になる。



付箋を整理したり交流したりする際の、観点（表現の効果）についても、**交流の前に指導事項の内容やこれまでの学び（系統性）を意識させる**ことで、資質・能力の確実な育成につながる。

小学校学習指導要領解説 国語編【第5学年及び第6学年 C(1)エ】

表現の効果を考えるとは、想像した人物像や全体像と関わらせながら、様々な表現が読み手に与える効果について自分の考えを明らかにしていくことである。感動やユーモアなどを生み出す優れた叙述、暗示性の高い表現、メッセージや題材を強く意識させる表現などに**着目**しながら読むことが重要である。

中学校学習指導要領解説 国語編【第1学年 C(1)エ】

表現の効果については、表現が、文章の内容を伝えたり印象付けたりする上で、どのように働いているかを考えることが重要である。例えば、**簡潔な述べ方と詳細な述べ方、断定的な述べ方と婉曲な述べ方、敬体と常体、和文調の文体と漢文調の文体、描写の仕方や比喻をはじめとした表現の技法などに着目**することが考えられる。

- ◎ 表現が文章の内容を伝えたり印象付けたりする上でどのように働いているかを考えることに課題がある。
- ◎ 自分が感じたよさや工夫されていると**考えたことの根拠を明確にする**ことに課題がある。

グループで、付箋を整理しながら、気付いたことについて交流する場面

星新一訳には、「よろづのこと」を「笠、竿、杖、籠、筆、箱、筒、箸。」と書くなど、**古典の言葉を詳しく書き換えている**ところがあります。箬も籠も竹で作るなんて、さすが「竹取の翁」と呼ばれるだけのことはあると思いました。「すだれ、ふるい、かんざし」も漢字で書くと、「竹カムリ」なのですね。どのような漢字なのか調べてみたくなりました。

原文にはない「手なれた仕事だ。」の一文があることで、**翁の手つきが目**に浮かびますね。「その部分を、ていねいに割ってみる。」も原文には書かれていないことではないでしょうか。原文の「それを見れば」の前に翁がしたことを補って書いていますのだと思います。

教科書の現代語訳の「とてもかわいらしい様子で座っている」でも、「三寸ばかりなる人」の様子は分かりますが、星新一訳の「まことに、かわいらしい。」だと、**思わずつぶやいたような感じがして、かわいらしさが強調されている**と思います。「いと」は、「まことに」と訳すこともできるのですね。



「読むこと 精査・解釈」の指導事項について、これまでに学んだ内容や、第1学年で求められている内容が生かされた言語活動になっている。

[第1学年] 思判表 C 読むこと(1)エ 「精査・解釈」
表現の効果について、**根拠を明確にして考える**こと。

学習を振り返る場面

原文の意味が分かるだけでなく、「竹取の翁」やこの場面の様子についていろいろ想像できるのが面白かったです。例えば、「よろづのこと」に当たるものを「竹カムリ」の漢字で列挙していて、翁は「竹カムリ」のものならば何でも作れる人なのかもしれないと、想像が広がりました。前の時間にあらすじを確認したときに出てきた、五人の貴公子の求婚の場面で、それぞれの人物がどのように描かれているのか、読んでみたくなりました。



「精査・解釈」の学習過程を通して理解したことを他者に説明したり、他者の考えやその根拠などを知ったりするうえで、**改めて自分が文章をどのように捉えて精査・解釈したのかを振り返ることで自分の考えを確かなものにする**。

「令和5年度 全国学力・学習状況調査 報告書」(国立教育政策研究所)【授業アイディア例】とあわせてご活用ください。

山梨県学力把握調査 中学校 国語

実施生徒数 (人)	設問数 (問)	県正答率 (%)	全国正答率 (%)	県-全国正答率 (ポイント)
5,567人	26問	63.2	63.9	-0.7

		県正答率 (%)	全国正答率 (%)	県-全国正答率 (ポイント)
領域	言葉の特徴や使い方に関する事項	67.6	66.7	0.9
	情報の扱い方に関する事項	44.7	42.1	2.6
	我が国の言語文化に関する事項	91.8	93.1	-1.3
	話すこと・聞くこと	63.8	67.7	-3.9
	書くこと	54.1	56.7	-2.6
	読むこと	62.2	61.2	1.0
観点	知識・技能	64.2	63.1	1.1
	思考・判断・表現	58.9	60.4	-1.5
	主体的に学習に取り組む態度	46.3	50.0	-3.7
解答形式	選択式	64.8	64.8	0.0
	短答式	71.4	70.4	1.0
	記述式	48.1	52.3	-4.2

設問別正答率

通し 番号	解答 形式	観点			領域				問題の内容	出題のねらい	県正 答率 (%)	全国 正答 率 (%)	全国 との 差 (ポ イン ト)
		知	思	態	言葉	情報	言語	話聞					
1	選択	◎						◎			90.8	93.2	-2.4
2	選択	◎						◎			73.7	77.1	-3.4
3	記述	◎	◎					◎			26.9	32.7	-5.8
4	短答	◎			◎						78.8	83.6	-4.8
5	短答	◎			◎				漢字を読む	第1学年までに学習した漢字を正しく読んでいます。	99.4	99.1	0.3
6	短答	◎			◎						98.9	98.3	0.6
7	短答	◎			◎				漢字を書く	小学校で学習した漢字を正しく書いている。	55.0	57.0	-2.0
8	短答	◎			◎				漢字を書く	小学校で学習した漢字を正しく書いている。	57.0	58.5	-1.5
9	短答	◎			◎						43.3	30.7	12.6

10	短答	◎					◎									歴史的仮名遣いについて理解している。	91.8	93.1	-1.3
11	短答	◎			◎											文法・語句に関する事項	74.4	70.9	3.5
12	選択	◎			◎											文節の関係について理解している。	17.6	18.4	-0.8
13	選択	◎			◎											故事成語について理解している。	84.4	84.2	0.2
14	選択		◎											◎		文章の内容について叙述を基に捉えている。	68.0	65.7	2.3
15	選択		◎											◎	◎	説明的な文章の内容を読み取る	61.3	57.7	3.6
16	短答	◎	◎			◎								◎		情報と情報との関係について理解し、必要な情報に着目して、内容を解釈している。	43.9	42.4	1.5
17	選択		◎											◎		登場人物の心情について、描写を基に捉えている。	78.4	79.6	-1.2
18	選択		◎											◎		文学的な文章の内容を読み取る	56.0	55.0	1.0
19	選択		◎											◎		文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものに行っている。	65.6	66.5	-0.9
20	選択		◎											◎		読み手からの助言を踏まえ、自分の文章のよい点を見いだしている。	75.0	75.4	-0.4
21	選択	◎	◎			◎								◎		情報と情報との関係について理解し、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。	42.0	40.5	1.5
22	記述	◎	◎	◎		◎								◎		情報と情報との関係について理解し、読み手の立場に立って、文章を整えている。	48.1	43.5	4.6
23	記述		◎	◎										◎		指定された長さで文章を書いている。	58.7	66.2	-7.5
24	記述		◎											◎		2段落構成で文章を書いている。	56.6	63.7	-7.1
25	記述		◎	◎										◎		読み取った内容を明確にして書いている。	50.1	54.2	-4.1
26	記述		◎	◎										◎		自分の考えを明確にして書いている。	48.0	53.4	-5.4

【観点について】

(知)知識・技能、(思)思考・判断・表現、(態)主体的に学習に取り組む態度

【領域について】

(言葉)言葉の特徴や使い方に関する事項、(情報)情報の扱い方に関する事項、(言語)我が国の言語文化に関する事項、(話聞)話すこと・聞くこと、(書)書くこと、(読)読むこと

成果及び課題が見られる設問は、主に「県正答率」「全国正答率との差」を踏まえて、取り上げています。

【成果が見られる設問】

通し番号	県正答率(%)	全国正答率(%)	出題形式	全国正答率との差(ポイント)
13	84.4	84.2	選択	0.2
問題の内容	文法・語句に関する事項			
出題のねらい	故事成語について理解している。			
通し番号	県正答率(%)	全国正答率(%)	出題形式	全国正答率との差(ポイント)
14	68.0	65.7	選択	2.3
問題の内容	説明的な文章の内容を読み取る			
出題のねらい	文章の内容について叙述を基に捉えている。			
通し番号	県正答率(%)	全国正答率(%)	出題形式	全国正答率との差(ポイント)
15	61.3	57.7	選択	3.6
問題の内容	説明的な文章の内容を読み取る			
出題のねらい	文章の構成や展開について、根拠を明確にして考えている。			

【課題が見られる設問】

☆次のページに、通し番号22「情報の扱い方に関する事項」「書くこと」の具体的な授業例を提示

通し番号	県正答率(%)	全国正答率(%)	出題形式	全国正答率との差(ポイント)
3	26.9	32.7	記述	-5.8
問題の内容	話し合いの内容を聞き取る			
出題のねらい	自分の考えや根拠が明確になるように、話の構成を考えている。			
授業改善の手立て	説明や発表などの学習活動をする際に、話の全体として伝えたいことを明確にするとともに、それを分かりやすく伝えるために、集めた材料や具体的な事実などの話の付加的な部分と、自分の感じたことや考えたことなどの話の中心的部分を、どのように順序立てて伝えるか考えるなど、自分の考えやその根拠が明確になるように話を構成することができるようにすることが大切である。			
通し番号	県正答率(%)	全国正答率(%)	出題形式	全国正答率との差(ポイント)
12	17.6	18.4	選択	-0.8
問題の内容	文法・語句に関する事項			
出題のねらい	文節の関係について理解している。			
授業改善の手立て	主語と述語の関係をはじめとする文節どうしの関係を指導する際には、それぞれの文節が文のどのような成分になるかなどの理解を、個別の知識の習得に留めず、「B書くこと」の「推敲」などの学習過程における指導との関連を図るなど、思考・判断し表現することを通じて深めることが大切である。学習の導入時に、小学校段階の既習事項を振り返ることも有効である。			
通し番号	県正答率(%)	全国正答率(%)	出題形式	全国正答率との差(ポイント)
22	48.1	43.5	記述	4.6
問題の内容	報告する文章を書く			
出題のねらい	情報と情報との関係について理解し、読み手の立場に立って、文章を整えている。			
授業改善の手立て	推敲の学習活動をする際に、自分が書いた文章の説明や具体例、描写などについて、表記や語句の用法、叙述の仕方、表現の効果などに着目して見直し、これらの表現が、自分の考えを明確に伝えるために機能しているか、どのような効果を生んでいるかなどについて検討し、そのうえで誤解のない表現やより効果的な表現にしていくように指導することが大切である。			

こんな姿をめざしたい!!



情報と情報の関係について理解し、根拠を明確にして、 自分の考えが伝わる文章が書くことができる生徒

課題の見られる設問 ⑥(3)

情報と情報との関係について理解し、読み手の立場に立って、文章を整える問題

分析と課題

- 情報と情報との関係について理解し、自分の伝えようとする事実や事柄、意見などが十分に書き表されているかどうかを検討することに課題がある。

1 学年の学習で...

第1学年 知技(2)情報の扱い方に関する事項 ア「情報と情報の関係」 B書くこと(1)ウ「考えの形成、記述」
指導のポイント：原因と結果、意見と根拠、根拠を明確にする
教材名：「根拠を示して説明しよう」（光村図書）

＜言語活動例＞ レポートを書こう
書くことの学習において
→情報と情報の関係（原因と結果・意見と根拠）について理解し、根拠を明確にしてレポートを書く。

＜学習活動例＞ モデルレポートを検討しよう。
◎個人でレポートを作成する前に、教師が示す「学習の目標に対して不十分なモデルレポート」について、改善の方法を考える。

【思考力、判断力、表現力等】における指導では、【知識及び技能】との関連を図り、相互に指導の効果を高めましょう。

中学生にとってインターネットの利用時間はどれぐらいがよいか。

1 課題
：

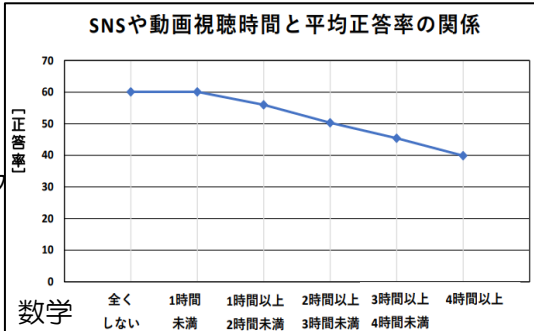
4 調査の結果

① クラスアンケート調査の結果

- 利用時間の平均：約2時間30分
- 主な利用内容：動画視聴・ゲーム・音楽視聴・家庭学習

② 使用時間と成績の関係

（資料）



令和4年度
全国・学力学習
状況調査
質問紙と学力の
クロス分析データ
から作成

国立教育政策
研究所HPより

5 考察

クラスのアンケート結果を見ると、利用時間の平均は、約2時間30分だった。国立教育政策研究所が出した「令和4年度全国学力・学習状況調査質問紙と学力のクロス分析」によると、**1時間以上の使用が原因で、成績が下がるため（資料）**、長時間の使用は私たちの学力に悪い影響を及ぼすと考えられる。

いっぽう、**インターネットの利用が、時間の短縮や学習に役立つといったメリットもあると思う。**

よって、利用内容にもよるが、私は中学生の時期はインターネットの利用時間は、1時間以内にするとうい考える。

これからみなさんに書いてもらうレポートのモデルを配布しました。このレポートを読んだときに、伝えたいことが伝わってきますか。改善点があれば、コメントに記入しましょう。



「1時間以上の使用が原因で、成績が下がるため」って書いてあるけれど、本当に、それが原因で成績が下がると言えるのかな。必ずしもそうとは言えないよね。



確かにそうだね。ただ、長時間の使用は学力に悪い影響を及ぼすということに対して関係が見られる資料だね。表現を「1時間以上の使用は、使用時間に比例して、成績が下がるという調査結果もあるため」とすれば、どうかな。他のグループは、どのように考えているのかな...



考察で、「インターネットの利用が、時間の短縮や学習に役立つといったメリットもあると思う」と書いてあるけれど、どのようなことを言っているのだろう。

どのようなことをメリットと考えているのかを伝えるための、具体例がほしいね。



レポートのモデルは、原因と結果の捉えや意見に対する根拠の部分に不十分な点があることに気付きましたね。この点を意識して、説得力のあるレポートを実際に作成していきましょう。



レポート等を書く活動の前に、つまずきとなりそうな点を
事前に意識したり、確認したりできる学習内容を設定しよう

ここが
POINT

